

事務事業チェックシート

事務事業No 385 事業名 衛生研究所施設管理事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
基本方針	3	検査体制の強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		衛生研究所費	
	大事業		衛生研究所事業	
事項		衛生研究所施設管理事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	S52	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	衛生研究所	森野 吉晴(453-0055)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	安全に施設が利用できる状態にする。依頼検査の受付と成績書の交付。	庁舎管理のための庁舎清掃、庁舎警備等の各種契約業務や支払い業務、施設・設備の修繕、火災保険への加入。所に属する予算経理に関すること。公印の管守及び文書に関すること。手数料に関すること。公衆衛生情報の収集及び解析に関すること。調査研究、研修の企画に関すること。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		庁舎維持管理に必要な業務の委託・発注及び市民・行政からの試験・検査依頼の受付業務	庁舎維持管理に必要な業務の委託・発注及び市民・行政からの試験・検査依頼の受付業務	庁舎維持管理に必要な業務の委託・発注及び市民・行政からの試験・検査依頼の受付業務	庁舎維持管理に必要な業務の委託・発注及び市民・行政からの試験・検査依頼の受付業務	庁舎維持管理に必要な業務の委託・発注及び市民・行政からの試験・検査依頼の受付業務

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	123,978	111,252	10,842	10,428	11,748		11,748		11,748		
	伸び率 (%)	-	-	-91.3%		8.4%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	6,236	8,199	8,199	8,103	7,200		7,200		7,200	
		非常勤職員	795	302	302	273	368		368		368	
		小計	7,028	8,501	8,480	8,376	7,568		7,568		7,568	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債	75,900	62,700									
	その他	37,600	37,314	1	0	1		1		1		
	一般財源(税等)	10,478	11,238	10,841	10,428	11,747		11,747		11,747		
	所要人数	常勤職員	0.84	1.10	1.10	1.07	0.95		0.95		0.95	
非常勤職員		0.51	0.14	0.14	0.13	0.17		0.17		0.14		
主な予算内訳	光熱水費6,904千円、委託管理料2,434千円、所々修繕料368千円											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	施設修繕件数実績				年度目標値				
					実績値	5	1		
	単位	件数	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	施設不良による検査業務の延滞件数				年度目標値	0	0	0	0
					実績値	0	0		
	単位	件数	全体目標値	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	検査の受付を的確に行い、検査結果の説明を行い成績書を発行した。庁舎の維持管理を適切に行った。
「見直し」 「改善」案	光熱水費等の削減に努め、庁舎の維持管理費の削減を図る。